



別表2

(2018-2回)

	<table border="1"> <tr><td colspan="2">1</td></tr> <tr><td>書名</td><td>このねこ、うちのねこ!</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 ヴァージニア・カール 訳 こだまともこ</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>徳間書店</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,500</td></tr> <tr><td>対象</td><td>幼児～小学校中学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2018年4月</td></tr> </table>	1		書名	このねこ、うちのねこ!	著者等	著 ヴァージニア・カール 訳 こだまともこ	出版社	徳間書店	定価	1,500	対象	幼児～小学校中学年	発行	2018年4月	<p>あるところに、小さな白いねこがいた。このねこは、じぶんをかってくれる家をさがして、たびにでた。そしてある日、家が7けんだけの小さな村にたどりついた。白いねこは、1けん目の家でメリンダ、2けん目では、ミランダというように7けん全部でちがう名前をつけてもらい、みんなのねこになった。ところが、国じゅうにねずみがふえすぎたので、どこの家でもねこをかわなくてはいけないという法律ができ、役人が調べにきて・・・？くり返しのおもしろさとシンプルな魅力あるイラストがぴったり合ったユーモアあふれる楽しい絵本。</p> <p>(分類番号 726)</p>
1																
書名	このねこ、うちのねこ!															
著者等	著 ヴァージニア・カール 訳 こだまともこ															
出版社	徳間書店															
定価	1,500															
対象	幼児～小学校中学年															
発行	2018年4月															
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">2</td></tr> <tr><td>書名</td><td>ようかいしりとり</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 おくはらゆめ</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>こぐま社</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,300</td></tr> <tr><td>対象</td><td>幼児～小学校低学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2018年5月</td></tr> </table>	2		書名	ようかいしりとり	著者等	著 おくはらゆめ	出版社	こぐま社	定価	1,300	対象	幼児～小学校低学年	発行	2018年5月	<p>妖怪のことなら、なんでも知っている「ようかいはかせ」のところに、妖怪の名前でしりとりをしようと「ろくろっくび」と「ざしきわらし」がやってきた。ろくろっくび びんぼうがみみつめぞう うみぼうず ずんべらぼう・・・。妖怪はかせとしりとりをはじめた、ろくろっくびと、ざしきわらしだったが、妖怪はかせにはかなわない。各ページに登場してくる妖怪たちの紹介が、語り口調で書かれているのが楽しい。妖怪たちのユーモアたっぷりに描かれたマンガ風の絵も、おおらかで子どもたちをひきつける一冊。</p> <p>(分類番号 726)</p>
2																
書名	ようかいしりとり															
著者等	著 おくはらゆめ															
出版社	こぐま社															
定価	1,300															
対象	幼児～小学校低学年															
発行	2018年5月															
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">3</td></tr> <tr><td>書名</td><td>ネルソンせんせいがきえちゃった!</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 ハリー・アラード 訳 もりうちすみこ 絵 ジェイムズ・マーシャル</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>朔北社</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,500</td></tr> <tr><td>対象</td><td>幼児～小学校中学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2017年12月</td></tr> </table>	3		書名	ネルソンせんせいがきえちゃった!	著者等	著 ハリー・アラード 訳 もりうちすみこ 絵 ジェイムズ・マーシャル	出版社	朔北社	定価	1,500	対象	幼児～小学校中学年	発行	2017年12月	<p>学校の中でいちばんお行儀のわるいのは、2年1組の子どもたち。かみひこうきをとばしてあそぶやら、口にふくんだ紙だまを天井に向けてとぼしたり、コソコソおしゃべり、クスクスわらって、モゾモゾうごいたり、みんな勉強もしないで勝手なことばかりしているの、担任の優しいネルソン先生は大弱り。ところが次のあさ、魔女のように恐ろしくてこわいスワンプ先生が2年1組にやってきた・・・。ネルソン先生は、どこに？怪しい行方不明事件のいきさつを、巧みな筋はこびの文と、どこことなくユーモラスで洒落っ気たっぷりの絵が楽しい一冊。</p> <p>(分類番号 726)</p>
3																
書名	ネルソンせんせいがきえちゃった!															
著者等	著 ハリー・アラード 訳 もりうちすみこ 絵 ジェイムズ・マーシャル															
出版社	朔北社															
定価	1,500															
対象	幼児～小学校中学年															
発行	2017年12月															
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">4</td></tr> <tr><td>書名</td><td>ふたごのカウボーイ</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 フローレンス・スロポドキン 訳 小宮 由 絵 ルイス・スロポドキン</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>瑞雲舎</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,300</td></tr> <tr><td>対象</td><td>幼児～小学校低学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2018年6月</td></tr> </table>	4		書名	ふたごのカウボーイ	著者等	著 フローレンス・スロポドキン 訳 小宮 由 絵 ルイス・スロポドキン	出版社	瑞雲舎	定価	1,300	対象	幼児～小学校低学年	発行	2018年6月	<p>ネッドとドニーは、ふたごの男の子。2人は家の庭でカウボーイごっこをするのが大好き。ある日、お気に入りのカウボーイのステープになったドニーと、ジムになったネッドは、おたずねものや、どうぶつを見つけに行こう！ということになり、信号をわたり商店街をぬけ通りに出て楽しくカウボーイごっこをしていたドニーとネッド。ところが・・・。元気なふたごにまわりの大人たちは大混乱。軽やかなタッチの線と明るい色彩で描かれたさし絵が、お話しにぴったり。米国の作家夫妻による、愉快で楽しいぼうけん物語。</p> <p>(分類番号 933)</p>
4																
書名	ふたごのカウボーイ															
著者等	著 フローレンス・スロポドキン 訳 小宮 由 絵 ルイス・スロポドキン															
出版社	瑞雲舎															
定価	1,300															
対象	幼児～小学校低学年															
発行	2018年6月															
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">5</td></tr> <tr><td>書名</td><td>あのくも なあに？</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 富安 陽子 絵 山村 浩二</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>福音館書店</td></tr> <tr><td>定価</td><td>900</td></tr> <tr><td>対象</td><td>幼児～小学校低学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2018年5月</td></tr> </table>	5		書名	あのくも なあに？	著者等	著 富安 陽子 絵 山村 浩二	出版社	福音館書店	定価	900	対象	幼児～小学校低学年	発行	2018年5月	<p>あのくもなあに？なんだろうね。カーテンぐもだよ、あのくもは。たかい おやまの てっぺんに ねぼすけきよじんが すんでてさ、あさの ひかりが まぶしくて、くもの かーてんしめたんだ 天狗がすわっているような ざぶとんぐも、ダンスをおどるかぜの子のリボンぐも。竜のすみかのように、高く盛り上がったムクムクぐも・・・。空想あそびの楽しさを感じて読むことのできる絵本。広々とした空のようすが画面いっぱい描かれている絵も魅力、繰り返しのことばが、あたたかく、ほほえましい一冊。</p> <p>(分類番号 726)</p>
5																
書名	あのくも なあに？															
著者等	著 富安 陽子 絵 山村 浩二															
出版社	福音館書店															
定価	900															
対象	幼児～小学校低学年															
発行	2018年5月															
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">6</td></tr> <tr><td>書名</td><td>しゅくだい クロール</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 福田 岩緒</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>PHP研究所</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,200</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校低、中学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2018年6月</td></tr> </table>	6		書名	しゅくだい クロール	著者等	著 福田 岩緒	出版社	PHP研究所	定価	1,200	対象	小学校低、中学年	発行	2018年6月	<p>しょうたは仲良しのかおるに、ひっこしが決まったことをつげた。かおるはそれからしょうたに話しかけてこなくなったが、ある日、「今年の水泳大会にでよう」といつてきた。水がこわかったが、「ぼくが教えるから」とかおるがいつてくれたので、リレーでクロール25メートルを泳ぐことを決意する。顔に水をつける、身体を伸ばして水にうく、足をバタバタさせてける、息つきをする、かおるに教わってなんとか泳げるようになる。水泳大会の当日、25メートルをなんとか泳ぎ切ると、そこにはかおるの顔が見えた。少年の友情と別れの物語。</p> <p>(分類番号 913)</p>
6																
書名	しゅくだい クロール															
著者等	著 福田 岩緒															
出版社	PHP研究所															
定価	1,200															
対象	小学校低、中学年															
発行	2018年6月															

	<table border="1"> <tr><td colspan="2">7</td></tr> <tr><td>書名</td><td>妖精のスープ</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 高森 美由紀 絵 井田 千秋</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>あかね書房</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,200</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校中、高学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2017年10月</td></tr> </table>	7		書名	妖精のスープ	著者等	著 高森 美由紀 絵 井田 千秋	出版社	あかね書房	定価	1,200	対象	小学校中、高学年	発行	2017年10月	<p>春香は五年生になり、新しいクラスになじめずにいた。家では妹が母さんを独占し、淋しい思いをしていた。そんなある日、妖精のようなおばあさんに会う。その人は森の中の小さな古い小屋のような家に住んでいた。春香は思い切ってその妖精に声をかける。ひどくまずい薬草のスープを飲まされたりするが、手際よく材料を無駄にせずおいしいスープを作ることにおどろく。そして春香もスープを作ろうとする。だれかのために料理をすること、それがおいしさの秘密であることを教わる。したいことをつかみ、居場所をみつけていく少女の物語。</p> <p>(分類番号 913)</p>
7																
書名	妖精のスープ															
著者等	著 高森 美由紀 絵 井田 千秋															
出版社	あかね書房															
定価	1,200															
対象	小学校中、高学年															
発行	2017年10月															
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">8</td></tr> <tr><td>書名</td><td>メロンに付いていた手紙</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 本田 有明 絵 宮尾 和孝</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>河出書房新社</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,300</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校高学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2018年6月</td></tr> </table>	8		書名	メロンに付いていた手紙	著者等	著 本田 有明 絵 宮尾 和孝	出版社	河出書房新社	定価	1,300	対象	小学校高学年	発行	2018年6月	<p>6年生の海斗は、誕生日に買ってもらった夕張メロンの箱の中に手紙を見つける。そして夏休みに、その手紙を書いた夏樹に会いに夕張を訪れる。いちめんのメロン畑、集荷場などを見学し、かつて炭鉱だった夕張の人口が減っていること、鉄道も廃線になることも知る。それでも人々は、夢をもってこの街の発展を願っていた。人はだれしも自分がないものにあこがれる。海斗は夏樹が春樹を思いやり仲がいいことに感動する。そして、冬休みには夏樹が東京を訪れることを約束する。異なる環境に生きるふたりの少年の友情物語。</p> <p>(分類番号 913)</p>
8																
書名	メロンに付いていた手紙															
著者等	著 本田 有明 絵 宮尾 和孝															
出版社	河出書房新社															
定価	1,300															
対象	小学校高学年															
発行	2018年6月															
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">9</td></tr> <tr><td>書名</td><td>ぼくのパパは一本足 ふたりの最強ルール</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 フランチェスコ・メニケッラ 訳 飯田 亮介</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>PHP研究所</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,400</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校高学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2018年3月</td></tr> </table>	9		書名	ぼくのパパは一本足 ふたりの最強ルール	著者等	著 フランチェスコ・メニケッラ 訳 飯田 亮介	出版社	PHP研究所	定価	1,400	対象	小学校高学年	発行	2018年3月	<p>トーマスのパパは子どもの頃に病気で右足を失ったが、今はパラサイクリングのチャンピオンになった。そんなパパをトーマスは誇りに思っている。しかし、パパのことを「一本足」とからかうクラスメイトもいる。パパの物語を伝えようと、三人の物語を作る専門家の大人たちの力を借りて、子どもの時のパパに会いにタイムスリップをする。パパは、トーマスに、夢をあきらめないこと、自分がもっているものだけに集中すること、子どもらしい心を持ち続ける、限界は自分の心の中にしか存在しないことなどを伝える。イタリアの作家のファンタジー。</p> <p>(分類番号 973)</p>
9																
書名	ぼくのパパは一本足 ふたりの最強ルール															
著者等	著 フランチェスコ・メニケッラ 訳 飯田 亮介															
出版社	PHP研究所															
定価	1,400															
対象	小学校高学年															
発行	2018年3月															
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">10</td></tr> <tr><td>書名</td><td>たぬきの花よめ道中</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 最上 一平 絵 町田 尚子</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>岩崎書店</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,600</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校高学年～高校生以上</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2018年3月</td></tr> </table>	10		書名	たぬきの花よめ道中	著者等	著 最上 一平 絵 町田 尚子	出版社	岩崎書店	定価	1,600	対象	小学校高学年～高校生以上	発行	2018年3月	<p>山の中にすむたぬきのあさぎり姉さんが大都會の中のとぬき村へお嫁入することになる。たぬきたちは人間に化けて電車にのり、たぬきからすると「へき地」である都会へと移動する。何かの巣のようなビル。おいしいレストランの食べ物。おどろくことばかりでいもうとたぬきは心配する。でもあさぎり姉さんは「愛があればだいじょうぶ」と、都会で生きることを決意する。都会の片隅で生きるたぬきたちがいる。そんなたぬきたちの様子をファンタジックに描いた、たぬきの嫁入り物語。</p> <p>(分類番号 726)</p>
10																
書名	たぬきの花よめ道中															
著者等	著 最上 一平 絵 町田 尚子															
出版社	岩崎書店															
定価	1,600															
対象	小学校高学年～高校生以上															
発行	2018年3月															
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">11</td></tr> <tr><td>書名</td><td>マンゴー通り、ときどきさよなら</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 サンドラ・シスネロス 訳 くぼたのぞみ</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>白水社</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,300</td></tr> <tr><td>対象</td><td>中学生～一般</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2018年5月</td></tr> </table>	11		書名	マンゴー通り、ときどきさよなら	著者等	著 サンドラ・シスネロス 訳 くぼたのぞみ	出版社	白水社	定価	1,300	対象	中学生～一般	発行	2018年5月	<p>アメリカンドリームを求めて中南米から移民してきた人々が暮らす「マンゴー通り」。少女エスペランサの目を通して、マンゴー通りに住む人々やその暮らしがみずみずしく描かれる。両親と3人の弟妹たちと住む古い家、貧しさと人生の問題を抱える隣人たち、盗みや暴力に荒むマンゴー通りにも、子供たちの無邪気な遊びや青春へのあこがれがあり、家族の愛がある。そしてエスペランサは、いつかここを出て自分の人生を生き、自分の家を持ちたいと夢見ている。そのために書き続ける、書くことで自由になれるのだと信じる。身近な世界ではないのに、なぜか懐かしい。80年代に出版され世界中から愛された名作のリメイク版。</p> <p>(分類番号 933)</p>
11																
書名	マンゴー通り、ときどきさよなら															
著者等	著 サンドラ・シスネロス 訳 くぼたのぞみ															
出版社	白水社															
定価	1,300															
対象	中学生～一般															
発行	2018年5月															
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">12</td></tr> <tr><td>書名</td><td>リマ・トゥジュ・リマ・トゥジュ</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 こまつあやこ</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>講談社</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,200</td></tr> <tr><td>対象</td><td>中学生</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2018年6月</td></tr> </table>	12		書名	リマ・トゥジュ・リマ・トゥジュ	著者等	著 こまつあやこ	出版社	講談社	定価	1,200	対象	中学生	発行	2018年6月	<p>沙弥は中学2年、マレーシアからの帰国子女だ。転校以来学校生活から浮かないように一生懸命だったが、ある日延滞本の督促状を配って歩く3年の「督促女王」りりこに呼び出され「ギンコウ」に連れていかれる。それは短歌の「吟行」で、何も分からない沙弥はマレーシア語まじりの31文字を詠むが、不思議に心が解放されるのだった。りりこ先輩の過去、好意を抱いていた同級生の謎の行動、そして母親は浮気を？沙弥の周りではいろんなことが起こるが、問題と向き合ううちに沙弥は自分と周囲を大切に生かすことに目覚めていく。表題はマレーシア語で五七五七七、講談社児童文学新人賞受賞のさわやかな青春小説だ。</p> <p>(分類番号 913)</p>
12																
書名	リマ・トゥジュ・リマ・トゥジュ															
著者等	著 こまつあやこ															
出版社	講談社															
定価	1,200															
対象	中学生															
発行	2018年6月															

	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">13</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>この世界のしくみ 子どもの哲学2</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 河野哲也 土屋陽介 村瀬 智之 神戸和佳子 松川絵里</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>毎日新聞出版</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>高学年～一般</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2018年4月</td> </tr> </table>	13		書名	この世界のしくみ 子どもの哲学2	著者等	著 河野哲也 土屋陽介 村瀬 智之 神戸和佳子 松川絵里	出版社	毎日新聞出版	定価	1,300	対象	高学年～一般	発行	2018年4月	<p>毎日小学生新聞連載「てつがくカフェ」の書籍化第2弾。「1+1は絶対に2か?」「国って何?」から「なぜゲームに夢中になるの?」等々、日常生活に潜む小さな疑問から、人生の根源的な疑問まで、5人の哲学者たちがそれぞれの考えを語るリレーエッセイ。前作と同様に結論は出さないオープンエンドに、読者を思考に誘う仕組みが隠されている。親しみやすい雰囲気、読者も哲学者たちに混じってカフェでお茶を飲みながら議論でもしている気分で、考えたり話したりする面白さを感じ取れる一冊だ。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 100)</p>
13																
書名	この世界のしくみ 子どもの哲学2															
著者等	著 河野哲也 土屋陽介 村瀬 智之 神戸和佳子 松川絵里															
出版社	毎日新聞出版															
定価	1,300															
対象	高学年～一般															
発行	2018年4月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">14</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>「牛が消えた村」で種をまく ～「までい」な村の仲間とともに～それでも「ふるさと」</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 豊田 直巳</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>農文協</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>高学年～一般</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2018年2月</td> </tr> </table>	14		書名	「牛が消えた村」で種をまく ～「までい」な村の仲間とともに～それでも「ふるさと」	著者等	著 豊田 直巳	出版社	農文協	定価	2,000	対象	高学年～一般	発行	2018年2月	<p>2011年東日本大震災、福島第一原発の事故では、周辺の広い地域に放射能が拡散した。色も臭いもない放射能は「日本一美しい村」とよばれた飯館村にも降り注ぎ、住民は避難を余儀なくされる。酪農家の長谷川さんも50頭の牛たちを手放すしかなかった。仕事を失い、大家族もバラバラになり、人生を奪われてしまった人々。2年だけと言われた避難も7年に。けれども汚染土をいれた黒い袋が果てしなく続く故郷に、長谷川さんは種をまくのだ。……豊かな土地と生活と文化を奪われた飯館の人々の、やりきれない思いを抱えながらも前を向いて生きていこうとする姿を追った写真絵本、「それでも『ふるさと』」全3冊中の1冊。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 369)</p>
14																
書名	「牛が消えた村」で種をまく ～「までい」な村の仲間とともに～それでも「ふるさと」															
著者等	著 豊田 直巳															
出版社	農文協															
定価	2,000															
対象	高学年～一般															
発行	2018年2月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">15</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>4歳の僕はこうしてアウシュヴィッツから生還した</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 マイケル・ボーンスタイン デビー・ボーンスタイン・ホリンスタート 訳 森内 薫</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>NHK出版</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,800</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>中学生～一般</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2018年4月</td> </tr> </table>	15		書名	4歳の僕はこうしてアウシュヴィッツから生還した	著者等	著 マイケル・ボーンスタイン デビー・ボーンスタイン・ホリンスタート 訳 森内 薫	出版社	NHK出版	定価	1,800	対象	中学生～一般	発行	2018年4月	<p>ポーランドで戦争が始まったのは1939年9月。ドイツ占領下の1940年に生まれたユダヤ人のマイケルは、ジャルキのオープン・ゲッターにいた。その後、わずか4歳でアウシュヴィッツへと送られたが、子どもが次々に殺されていく中、彼は奇跡的に生き延びた。そして長年沈黙を守ってきたが、幼い自分が写った1枚の写真との出会いをきっかけに、ジャーナリストである娘デビーの手を借りてアウシュヴィッツの証言者となることを決意する。想像を絶する状況の中、家族の絆や希望を失わず、生きることの大切さを教えてくれるノンフィクション。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 936)</p>
15																
書名	4歳の僕はこうしてアウシュヴィッツから生還した															
著者等	著 マイケル・ボーンスタイン デビー・ボーンスタイン・ホリンスタート 訳 森内 薫															
出版社	NHK出版															
定価	1,800															
対象	中学生～一般															
発行	2018年4月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">16</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>雨降る森の犬</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 馳 星周</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>集英社</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,650</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>高校生以上</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2018年6月</td> </tr> </table>	16		書名	雨降る森の犬	著者等	著 馳 星周	出版社	集英社	定価	1,650	対象	高校生以上	発行	2018年6月	<p>父が病気で亡くなり、母は若いボーイフレンドを追いかけてニューヨークへ。一緒に行こうという誘いを断り、中学生の雨音は山岳写真家の伯父・道夫と一緒に暮らすことを選ぶ。自作のログハウスで暮らす道夫の家には、バーニーズ・マウンテン・ドッグのワルテルがいた。そして隣の大きな別荘へやってきた高校生の正樹と知り合う。正樹は再婚した父親と若い母親に対して、複雑な感情を抱えていた。道夫の影響で登山の魅力を知りようになった二人は、ワルテルや自然との触れ合いに心を少しずつ癒されながら、自らの生きる方向性を見出していく。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 913)</p>
16																
書名	雨降る森の犬															
著者等	著 馳 星周															
出版社	集英社															
定価	1,650															
対象	高校生以上															
発行	2018年6月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">17</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>十五の夏 上/下</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 佐藤 優</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>幻冬舎</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>各1800</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>高校生以上</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2018年3月</td> </tr> </table>	17		書名	十五の夏 上/下	著者等	著 佐藤 優	出版社	幻冬舎	定価	各1800	対象	高校生以上	発行	2018年3月	<p>1975年、高校一年生の夏休み。当時、社会主義国への旅行者は珍しく、費用も高校の3年間の授業料の10倍以上になるのは間違いない中、高校入学に対する両親からの「御褒美」としてソ連・東欧へ一人で旅することになったのは、現在は作家で元外務省主任分析官の佐藤優。羽田を出発し、エジプトを経由してチュリヒから東欧に入るルートで、ユースホテルや列車を使って諸国をめぐる。様々な国の人や社会主義国の文化との出会いにより、少年が「佐藤優」の基盤ともなるべき大きな影響を受ける体験をする夏休み42日間の記録。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 289)</p>
17																
書名	十五の夏 上/下															
著者等	著 佐藤 優															
出版社	幻冬舎															
定価	各1800															
対象	高校生以上															
発行	2018年3月															

 <p>かならずお返事 書くからね I WILL ALWAYS WRITE BACK</p> <p>ケイトリン・アフリレンカ マーティン・ギャンダ 編 リズ・ウェルチ 訳 大浦 千鶴子</p> <p>二人の人生を変えた 一通の手紙</p> <p>アメリカの少女とジンバブエの少年の手紙のやり取りが始まった。ある日、少年からの返書の手紙が届いた。</p> <p>17歳の少女と14歳の少年が、手紙を通して感動の交流</p>	<p style="text-align: center;">18</p> <table border="1"> <tr> <td>書名</td> <td>かならずお返事書くからね</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 ケイトリン・アフリレンカ/マーティン・ギャンダ 編 リズ・ウェルチ 訳 大浦 千鶴子</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>PHP研究所</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,600</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>高校生以上</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2018年3月</td> </tr> </table>	書名	かならずお返事書くからね	著者等	著 ケイトリン・アフリレンカ/マーティン・ギャンダ 編 リズ・ウェルチ 訳 大浦 千鶴子	出版社	PHP研究所	定価	1,600	対象	高校生以上	発行	2018年3月	<p>アメリカに住む12歳の少女ケイトリンは、学校の課題で文通をすることになる。相手はそれまで聞いたこともないジンバブエという国の14歳の少年、マーティン。手紙のやり取りでお互いを知りうちに、二人は手紙の返事を心待ちにするようになる。そしてある日、マーティンから紙くずに書かれた手紙が届き、ついには連絡が途絶えてしまう。ケイトリンは知らなかったが、政治的にも不安定な国で暮らすマーティンは貧しい暮らしを強いられ、優秀なのに学費が払えず学校に行けなくなる危機にあった。ケイトリンと母のアンは彼を助けようと奮闘する。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 289)</p>
書名	かならずお返事書くからね													
著者等	著 ケイトリン・アフリレンカ/マーティン・ギャンダ 編 リズ・ウェルチ 訳 大浦 千鶴子													
出版社	PHP研究所													
定価	1,600													
対象	高校生以上													
発行	2018年3月													
 <p>おばあちゃんのごめんね リスト MY GRANDMA SAYS SORRY LIST</p> <p>フレドリック・バックマン 著 坂本 あおい</p> <p>早川書房</p>	<p style="text-align: center;">19</p> <table border="1"> <tr> <td>書名</td> <td>おばあちゃんのごめんねリスト</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 フレドリック・バックマン 訳 坂本 あおい</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>早川書房</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>2,200</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>高校生以上</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2018年3月</td> </tr> </table>	書名	おばあちゃんのごめんねリスト	著者等	著 フレドリック・バックマン 訳 坂本 あおい	出版社	早川書房	定価	2,200	対象	高校生以上	発行	2018年3月	<p>エルサは7歳の女の子。学校ではうまくいかず、一緒に住むママはおなかにいる半分ちゃんのパパであるイエーオリと同棲中。唯一の味方は破天荒なおばあちゃん。二人は「ミアマス」という秘密の王国を共有していた。しかし、エルサのヒーローだったおばあちゃんは、病気で亡くなってしまふ。おばあちゃんの遺言にしたがって、エルサは謝罪の手紙を持ちさまざまな人々を訪ねる。そして、エルサが知らなかったおばあちゃんの姿を見る。「ミアマス」の世界が自分の世界と重なり、自分を取り巻く強い絆を知って、逃げてばかりいたエルサは強くなる。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 949)</p>
書名	おばあちゃんのごめんねリスト													
著者等	著 フレドリック・バックマン 訳 坂本 あおい													
出版社	早川書房													
定価	2,200													
対象	高校生以上													
発行	2018年3月													